

国際広報メディア・観光学専攻

国際広報メディア研究コース

令和8年度

後期

日本語論述

10:00～12:00

解答上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開いてはならない。
2. 問題用紙はこの紙を含めて2枚ある。
3. 解答用紙(25字×40行=1000字)は2枚ある。
4. 解答用紙は2枚とも必ず提出すること。
5. 受験番号はすべての解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
6. 選択した問題番号はすべての解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
7. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
8. 下書き用紙は別途配布されるが、問題用紙の余白を下書きに使用しても差し支えない。
9. 問題用紙および下書き用紙は持ち帰ること。

以下の問題 1～4 のうちから 1 題を選択し、1600～2000 字の日本語(横書き)で記述しなさい。なお、適当な箇所で行って段落に分けること。また、字数は改行のための空を含めて計算する。

【問題 1】

生成 AI に過去の有名な画家、たとえばレンブラントの画風を学習させ、レンブラントが描いたであろう絵画を作成させるとする。あるいは宮崎駿のアニメの作風を学習させ、宮崎が制作したであろうアニメを作成させる。生成 AI がそうして作り出した絵画やアニメと、現実にレンブラントや宮崎が創作した作品との間にはどのような違いが考えられるか。制作物そのもの、あるいはその使われ方、受け取られ方など多様な視点からあなたの考えを述べなさい。

【問題 2】

コンピューターを使ったやり取りが日常生活に広まり、テキストだけでおこなうコミュニケーションでは、絵文字や顔文字、記号の組み合わせ、ユニークな当て字や略語などがよく使われている。こうした、テキスト特有の言葉の使い方は、言語学習や習得の際にどのようなメリットとデメリットがあるか。具体例を挙げてあなたの考えを述べなさい。

【問題 3】

意見が分かれる社会問題や課題をニュースあるいはドキュメンタリーとして取り上げる際、その取り上げ方に関して公平性が問題となる場合がある(例: 選択的夫婦別氏制度、少子高齢化、海外からの労働者受け入れの是非など)。多様な意見や価値観がある問題について、報道を含む公共的な情報発信は、どのようにすれば公平でバランスの取れた「伝え方」を実現できると考えるか。具体的な例を挙げ、あなたの考えを述べなさい。

【問題 4】

京都や鎌倉など日本の観光地においても観光客が過度に集中し地域住民や自然環境に悪影響を及ぼすオーバーツーリズムが問題になっている。一方、国や自治体としては、インバウンドの観光客を増加させることで観光収入を増やしたいという思惑もある。特定地域に多くの観光客を誘致することの功罪について論じ、発生している諸問題を挙げた上でこれらの問題をどのように解決すべきかあなたの考えを述べなさい。